プログラミングの基本

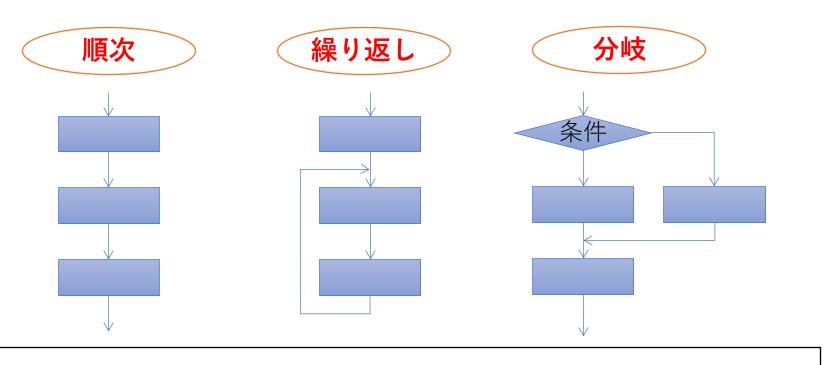
ITビジネス科 特別授業 2025/05/21

プログラムの基本動作

構造化プログラミングの考え方

構造化プログラミング

• 3 つの制御構造 (プログラムの流れ)



どんなプログラムも3つの流れの組み合わせで表現できる



順次実行

プログラムの流れ その1

「順次実行」とは

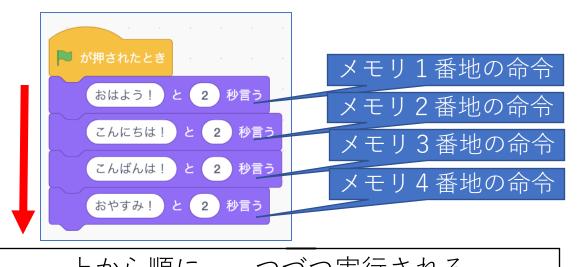
- プログラムを作って確認
 - 「おはよう!」と2秒言う。
 - 「こんにちは!」と2秒言う。
 - 「こんばんは!」と2秒言う。
 - 「おやすみ!」と2秒言う。



「プログラムは、書かれた順番にひとつづつ実行される」

プログラム内蔵方式

- ノイマン型コンピュータの定義
 - 命令とデータ(=プログラム)をメモリに記憶させる
 - メモリにはアドレス(番地)がある
 - ・メモリからプログラムを順番に取り出し、CPUで実行する

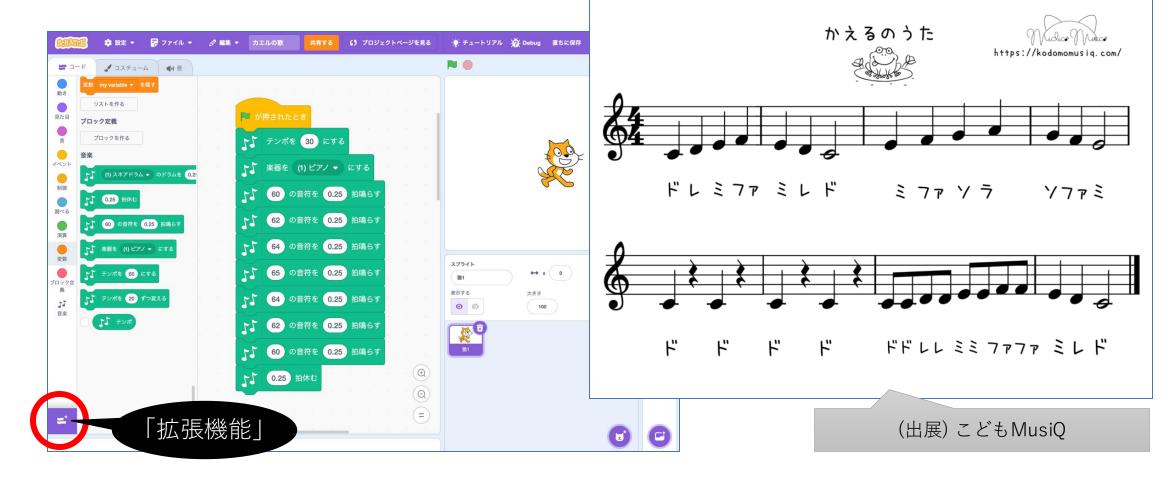


上から順に、一つづつ実行される



カエルの歌を作ろう!

・拡張機能「音楽」を使う



応用

- 楽器を変更する
- テンポを変更する
- 輪唱にする

- ・曲を変更する
- パートを増やす
- バンド/オーケストラを作る



繰り返し (ループ)

プログラムの流れその2

「繰り返し(ループ)」とは

- プログラムを作って確認
 - 10歩動かす
 - 次のコスチュームにする



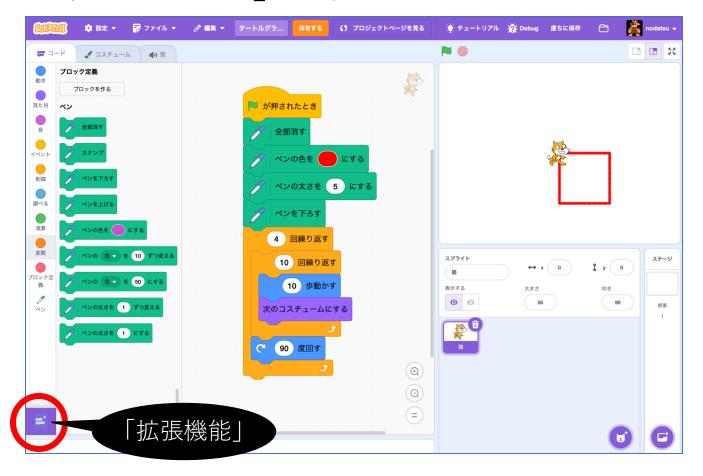
- 「10歩動かす + 次のコスチュームにする」を2回繰り返す
- 「10歩動かす + 次のコスチュームにする」を10回繰り返す

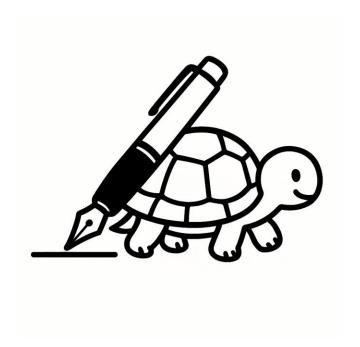
「同じ命令(群)を繰り返し実行する」

唯一、コンピュータが人間よりも優れている点 「正確に、高速に同じことを繰り返す」

タートルグラフィックス!

・拡張機能「ペン」を使う





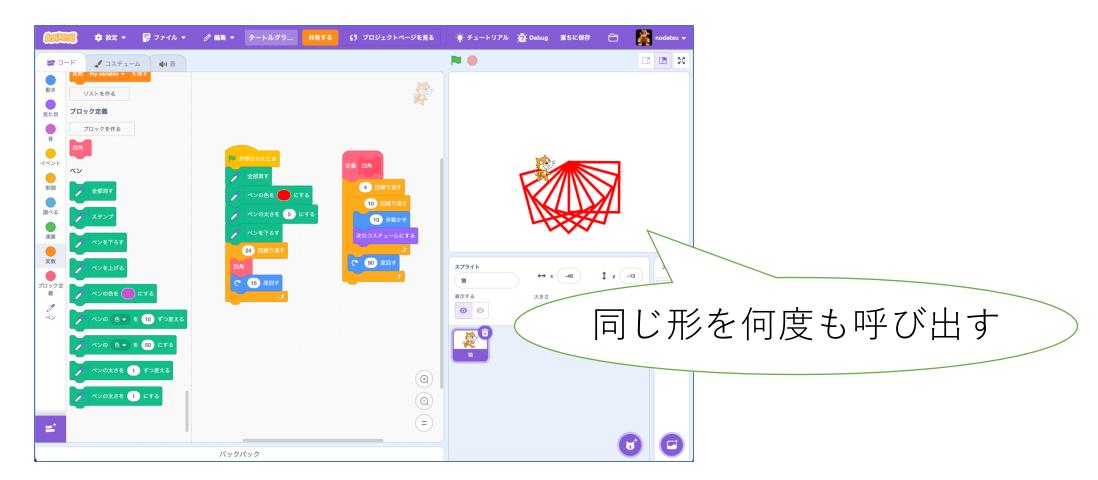
応用

- ペンを使って図を書く
 - ・四角を描く
 - ・三角を描く
 - 6角形を描く
 - 円を描く
 - 8 の字を描く
 - ・点線を描く

ペンの色や太さも変えてみる

幾何学模様を描く

• ブロック定義



条件分岐

プログラムの流れその3

「条件分岐」とは

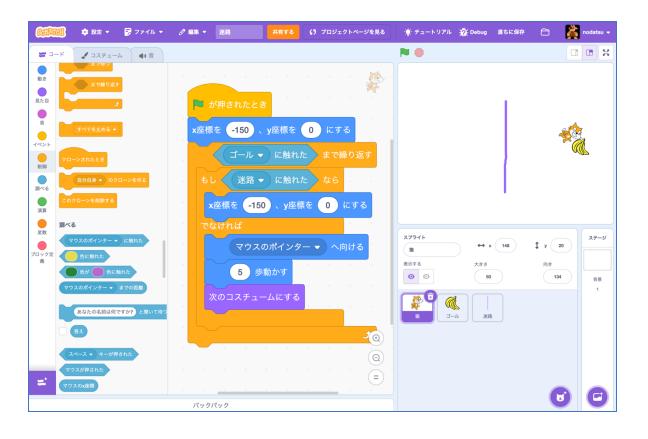
- プログラムを作って確認
 - 「キーを押して!」と2秒言う。
 - キーを押していたら「OK!」と2秒言う。
 - •押していなかったら「押せよ!」と2秒言う。

「条件によって実行する命令を切り替える」

「判断」ができて初めてプログラムが 「インテリジェント」になる

迷路を作ろう!

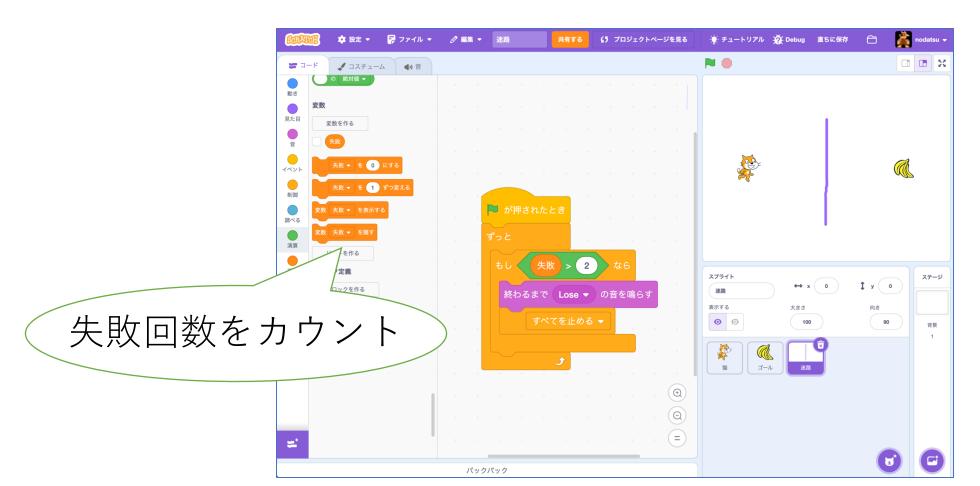
スプライトを描く





終了条件を追加する

• 変数の利用



完成版





ゴール